



# 自分の力を発揮でききる場所

## 「グルッポ」E<sup>エ</sup>

昭和52年に、「5人で旧土肥町の文化祭で歌ったのが、グルッポ「E」（エ）のスタートだよ」と聞いていますので、今年で結成27年になります。

毎週木曜日の7時30分から9時まで、平田りゅうこ先生の自宅をお借りして練習しています。今までメンバーは女性ばかりでしたが、今年になり男性が1人加入しメンバーは23人になり、グルッポ「E」はますますパワーアップしてきました。

町の文化祭・田方音楽祭・伊豆合唱祭・TEPCOふれあいコンサートなど、いろんな行事に参加させていただいております。大会の時には伴奏を別の先生にお願いしますが、普段の練習は平田先生に指導していただいています。1人でピアノを弾き歌を歌いながらも、メンバーの音程が違ったり声をしっかり出さなかったりすると、

注意してくれます。こんな私たちですが、とても楽しく練習をしています。本番が近くなると「暗譜」になりやすいので、とても大変になります。

8月26日（木）に、平田先生の30周年記念発表会があり、初めて「手話つき合唱」に挑戦し手話も上手になりました。これから伊豆市になり初めての、伊豆市文化祭の「芸能発表会」に参加させていただきますので練習をしています。「芸能発表会」で元気な私たちの歌声をぜひお聞きください。これからもグルッポ「E」（エ）をどうぞよろしく願います。

（代表者） 勝呂晴美



わが愛車は76・26「南無・ふむ」と覚え残年を共に走らん

（佐野）飯田三枝子

ふれあいのカレー作りに参加してわが子の笑顔に共に和めり

（青羽根）矢込 法子

梅雨晴れの木々の緑は極まりてひすがら聞こゆほととぎすの声

（佐野）山下 澄子

猫に對ひ小首を傾げある癖はわれに似しかも十五の少女

（月ヶ瀬）梅原とき子

### 俳壇

「伊豆市俳句愛好会」

老師筆の錫を鳴らして頼家忌

（弁天）杉山十四男

月明かり湖に映して夏兆す

（柏久保）森 正

夏足袋のこはせ緩めて茶席入る

（小坂）森嶋富美子

七夕の空を彩る和紙の里

（加殿）小川 知子

万歩計身に貰いたる合歡の風

（大野）渡辺 米子

猛暑続く広げたまの書簡箋

（年川）成田 静子

白牡丹紅ほのかを確める

（小立野）安部 のり

申年の梅漬け次は白寿なり

（駅前）山崎 こう

蝸は亡きはらからの声かとも

（牧之郷）市川 章

# みんなの広場



ゆうな  
原 結菜ちゃん

- 牧之郷
- H 14年 12月 23日 生まれ
- 結菜です。最近では拓夢お兄ちゃんのまねばかり。歌や踊り、ヒーローの変身と一緒に楽しんでます。でも寝るときはおしゃぶりとタオルが離せないの。



ようすけ  
遠藤 陽介くん

- 大平柿木
- H 14年 9月 28日 生まれ
- こんにちは、陽介だよ。いくら大好物で、花火やボール遊びをするのが大好きだよ！

みんなの  
ひろば

## ◎健康の秘訣

早寝・早起きをして夏の暑さに負けないようにしています。寒い冬は、趣味の竹細工を作り、指先を動かしていることが健康にいいのではないのでしょうか。

## ◎楽しみ・生きがい

昭和 52 年からやっているゲートボールをこれからも続けていきたいです。



いきいき

いつき  
落合伊樹さん

(日 向)  
明治 44 年 3 月 13 日 生まれ (93 歳)

## 歌壇

「短歌・天城」

競技終り西瓜の舟にかぶりつきする甘露に舌の蕩けり

(宿) 滝野 良

光あり風あり五月の峡の道たどれば間近く鶯の鳴く

(大平柿木) 下山 きみ

若き日に選びし道を最後まで貫きて吾に悔いはあらず

(西平) 安藤 梯子

赤きタリヤ咲きはしめたる畑に立ち病むところなき幸しみじみ思ふ

(大滝) 安藤 尚子

遠き日の草遊び唯なつかしく蚊帳吊り草を手折りて帰る

(月ヶ瀬) 上田婦美恵

歳月の過ぎゆく早さやみがたく今ひと山を越えなんとする

(大平柿木) 関野美江子

こぼれ種の秋海棠は群れ咲きて七月の庭夏盛りゆく

(大平柿木) 鈴木てつ子

昨夜降りし雨に紫陽花の花重くふれたる頬に露滴りぬ

(西平) 岩田 キヨ

背戸山に山百合白く浮きたちて見上げる人の声きこゆる

(宿) 安藤 綾子

梅雨明けを待ちつつ歩む夕暮れの川辺に淡く合歡の花咲く

(大平柿木) 鈴木富士子